

# ヒメコマツ栽培マニュアル

千葉県生物多様性センター

## 【苗の種類】

### ・つぎ木苗

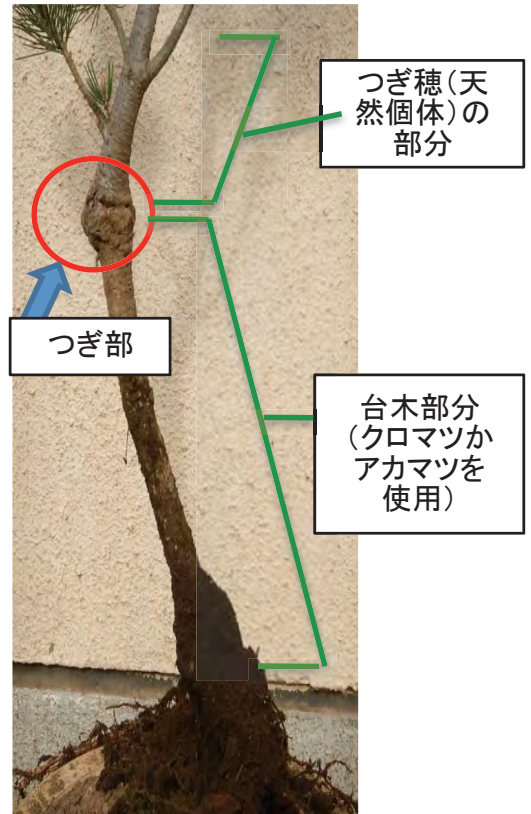
天然に生育している個体の遺伝子そのものを保存するため、クローンとして増殖した苗木。一般的にクローン増殖の方法にはさし木とつぎ木がありますが、ヒメコマツはさし木ができないので、つぎ木により増殖しました。ヒメコマツの系統保存上、重要な苗ですが、台木にヒメコマツでなくクロマツまたはアカマツを使っているため、外見からは判断できませんが、つぎ部が完全にはつながっていない場合があります。そのため植栽後に突然枯れてしまう可能性があることをご了解ください。

### ・天然個体由来の実生苗

天然の生育個体から種子を採り、その種子を蒔いて育てました。天然個体の遺伝子を持つヒメコマツ苗です。

### ・天然個体どうしを人工交配した実生苗

天然の稚樹を庭木として植栽しているヒメコマツに、天然個体の花粉を人工的に交配して種子を作らせ、その種子を蒔いて育てました。純粋な天然個体とは言えませんが、遺伝的には同等な遺伝子をもつ系統の保存を目的として作ったヒメコマツ苗です。



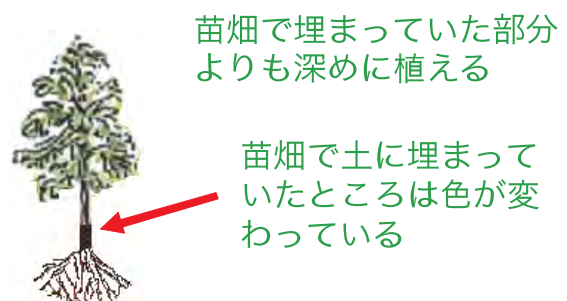
## 【植える場所】

ヒメコマツは陽樹で、もともと山の明るい尾根筋などに生育していますので、日当たりが悪く、いつもジメジメしているような場所は避けてください。植える場所は日当たりのよい山林、空き地、庭など、目の届く所ならばどこでもかまいません。

## 【植える時の注意】

なるべく早く植えてください。ただし根が乾くと活着しないので強風の際は植える直前まで根の部分に風にあたらないよう注意してください。

直前まで根をバケツで水につけるのも、一つの方法です。



## 【植え方】

植え穴は、根が窮屈にならないように、根鉢より少し大きめに掘ってください。深さは30～40cmが目安ですが、苗木の根元の方を良く見ると、色が変わっているところがあります。その部分までは埋めるようにしてください。

植え穴を掘ったら、穴の中に苗木をおき土を入れます。根の部分が土で埋まったら、いったん足でよく踏み固めて根の周りにきちんと土がつくようにします。さらに土をいれ、地面と平らになったらもう一度踏み固めます。地面よりへこんだら、さらに土を入れて平らになるようにしてください。

植え終わった苗木が強風で揺さぶられると、苗木が活着しないことがあります。**支柱を1本たてて、上下2か所をしばって苗木が動かないようにしてください。**

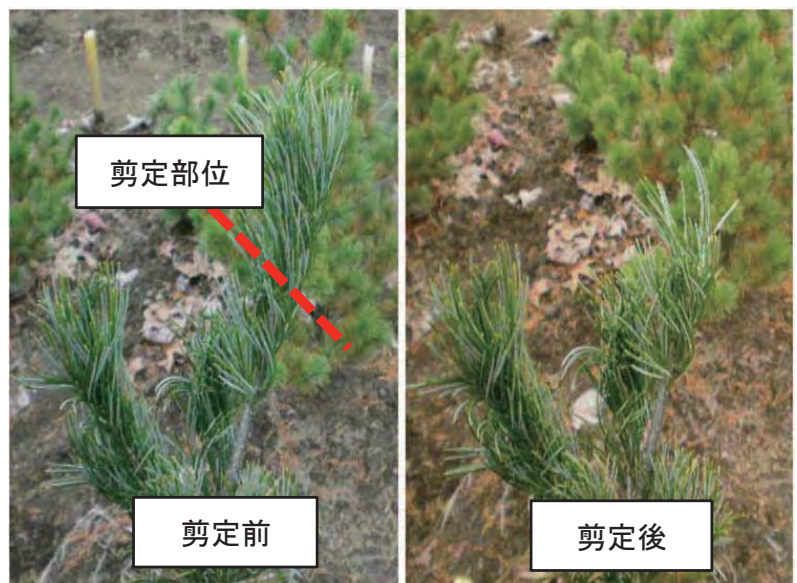
**植え終わったら根元に水を撒くと、活着しやすくなります。**ただし霜柱が立つような場所では霜柱で苗木が浮いてしまうので、水撒きはしないでください。

### 【植えた後の管理】

根が活着すれば強いので、水や肥料を与える必要はありません。ムシムシする時期には右下写真（写真はヒメコマツではなくクロマツ）のように先端の葉が黒ずんで芯の部分に白い斑点のようなものが付着することがあります。アブラムシなどが発生するとこの様な症状になりますが、枯れることはありません。殺虫剤を散布してください。



ヒメコマツは高木性でそのまま育てると、**樹高10m以上にもなります。**大きくなると困る場合は、**どんどん剪定してください。**盆栽、庭木などとして、普通に剪定する樹種なので、剪定しても枯れることはありません。剪定する枝は、写真のように少し葉のついている部分を残すようにしてください。芯の枝を剪定すると、高く伸びないので管理しやすくなります。



問合せ先：千葉県生物多様性センター

TEL: 043-265-3601

FAX: 043-265-3615

email : [bdc@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:bdc@mz.pref.chiba.lg.jp)